



会社名 J.フロント リテイリング株式会社
 コード番号 3086
 代表者名 代表執行役社長 好本 達也
 お問合せ先 コーポレートコミュニケーション室
 TEL 03-6865-7621

2023年9月度 J. フロント リテイリング 連結売上収益報告 (IFRS)

1. セグメント別売上収益 (売上高) (対前年増減率: %)

	売上収益(IFRS)		(参考)総額売上高	
	9月度	下期累計	9月度	下期累計
百貨店事業	13.5	-	17.7	-
SC事業	13.3	-	23.4	-
デベロッパー事業	40.4	-	44.0	-
決済・金融事業	▲5.9	-	▲5.9	-
その他	▲6.1	-	▲6.0	-
連結合計	14.5	-	19.4	-

※注) 1.当社は2017年3月から国際会計基準(IFRS)を任意適用しています。
 2.総額売上高はIFRS売上収益のうち「百貨店事業」の消化仕入取引を総額に、「SC事業」の純額取引をテナント取扱高(総額ベース)に置き換えて算出しています。
 3.各セグメントの対前年増減率は、それぞれを構成する事業会社の単純合算により算出しており、セグメント内消去を含みません。
 4.津田沼PARCOは、2023年2月末日をもって営業を終了しました。

2. 事業別の概況

1) 百貨店事業

- 9月度の売上高は、厳しい残暑による秋物衣料品へのマイナス影響があったものの、ラグジュアリーブランド、化粧品が引き続き好調に推移したことに加え、旅行用品、アクセサリーも好調に売上を伸ばしたことなどから、大丸松坂屋百貨店合計では対前年17.5%増、関係百貨店を含めた百貨店事業合計では同17.7%増となった。
- 大丸松坂屋百貨店の免税売上高は、対前年368.7%増(客数同1687.2%増、客単価▲73.8%減)となった。大丸松坂屋百貨店の国内売上高(免税売上の本年・前年実績を除く)は対前年7.7%増であった。
- なお大丸松坂屋百貨店の10月度の既存店売上(法人・本社等を除く)は、ラグジュアリーブランド、化粧品、時計が引き続き好調に推移し、国慶節期間を中心に訪日外国人売上が大きく伸長したことなどから、15日までの累計で対前年19.0%増(対2019年度50.9%増、対2018年度15.3%増)、国内売上高は同7.8%増(対2019年度51.3%増、対2018年度14.1%増)で推移している。免税売上高は対前年359.4%増(対2019年度47.8%増、対2018年度24.0%増)で推移している。

2) SC事業

- 9月度のテナント取扱高は、今春および今秋に実施した改装の効果、ヒットコンテンツの展覧会開催、訪日外国人客の増加などの影響により、全店舗計(既存店)で対前年27.5%増となった。

3) デベロッパー事業、決済・金融事業、その他

- デベロッパー事業は、J.フロント建装が、ホテル内装工事の好調、パルコスペースシステムズが内装・電気設備工事の好調によりともに大幅増収となり、全体でも大幅増収となった。
- 決済・金融事業のJFRカードは、ポイント費売上修正の増加、年会費の減少などによって減収となった。
- その他は、卸売業の大丸興業が、電子部品、産業資材の好調により増収となったが、海外子会社の減収により大丸興業全体では減収となり、その他全体でも減収となった。

【お問合せ先】 J.フロントリテイリング株式会社 コーポレートコミュニケーション室
 IR推進担当 TEL 03-6865-7621
 グループ広報担当 TEL 03-6865-7616

2023年9月度 百貨店事業 営業報告(総額売上高)

1. 売上高および入店客数 (対前年増減率：%)

	9月度		下期累計	
	売上高	入店客数	売上高	入店客数
大丸 心齋橋店	54.4	66.0	-	-
大丸 梅田店	16.5	36.0	-	-
大丸 東京店	26.6	24.5	-	-
大丸 京都店	18.2	9.0	-	-
大丸 神戸店	12.7	14.3	-	-
大丸 須磨店	1.4	0.3	-	-
大丸 芦屋店	▲1.2	3.4	-	-
大丸 札幌店	13.7	16.6	-	-
大丸 下関店	0.2	6.5	-	-
松坂屋 名古屋店	9.3	14.8	-	-
松坂屋 上野店	10.3	31.7	-	-
松坂屋 静岡店	5.3	12.1	-	-
松坂屋 高槻店	1.7	14.6	-	-
店 計	19.0	23.5	-	-
法人・本社等	▲11.9	-	-	-
大丸松坂屋百貨店合計	17.5	23.5	-	-
うち商品売上高	17.3	-	-	-
うち不動産賃貸収入	22.1	-	-	-
博多大丸	23.4	17.1	-	-
高知大丸	▲0.7	▲0.6	-	-
百貨店事業合計	17.7	22.9	-	-

2. 大丸松坂屋百貨店 商品別売上高 (対前年増減率：%)

	全店計	
	9月度	下期累計
紳士服・洋品	▲17.3	-
婦人服・洋品	28.2	-
子供服・洋品	7.8	-
その他の衣料品	▲0.3	-
衣料品計	21.8	-
身 回 品	15.9	-
化粧品	28.7	-
美術・宝飾・貴金属	12.6	-
その他雑貨	0.2	-
雑 貨 計	18.3	-
家具	3.5	-
家電	24.0	-
その他の家庭用品	9.3	-
家庭用品計	8.0	-
生 鮮	8.7	-
菓 子	14.0	-
惣 菜	10.7	-
その他食料品	▲5.6	-
食料品計	8.8	-
食堂・喫茶	26.4	-
サービス	20.8	-
そ の 他	▲7.7	-
合 計	17.3	-

3. 営業概況

- ・ 婦人服・洋品は、残暑により秋物の動きが鈍かったが、ラグジュアリーブランドが大きく伸ばして牽引した。紳士服・洋品は、ジャケット、パンツ、ポロシャツなどに動きが見られたが、品番移管の影響により対前年マイナスとなった。身回品では、アクセサリが好調に推移したほか、旅行用品が好調を継続した。雑貨では、化粧品がインバウンド需要の伸長のほか、メイクアップ商品の新製品が好調に動いたことなどにより、大きく伸ばした。食料品では菓子・惣菜が好調に推移した。

2023年9月度 パルコ店舗 テナント取扱高報告

※「テナント取扱高」とは、パルコ店舗におけるテナント取扱高(売上)の合計値で、前年の値も同じ基準で集計いたしております。

1. 店舗別テナント取扱高(対前年増減率：%)

	9月度	下期累計
札幌PARCO	31.2	-
仙台PARCO	7.4	-
新所沢PARCO	▲9.1	-
浦和PARCO	7.6	-
池袋PARCO	14.2	-
PARCO_ya上野	29.3	-
ひばりが丘PARCO	3.6	-
吉祥寺PARCO	26.9	-
渋谷PARCO	73.7	-
錦糸町PARCO	23.9	-
調布PARCO	7.8	-
松本PARCO	4.3	-
静岡PARCO	▲3.5	-
名古屋PARCO	45.8	-
心齋橋PARCO	69.7	-
広島PARCO	13.8	-
福岡PARCO	41.9	-
全店計	22.8	-
既存店計	27.5	-

※注) 1. 津田沼PARCOは、2023年2月末日をもって営業を終了しました。

2. 既存店計には、津田沼PARCOの前年実績値を含みません。

2. アイテム別テナント取扱高(対前年増減率：%)

	全店計	
	9月度	下期累計
衣料品	9.6	-
身回品	20.1	-
雑貨	36.4	-
食品	1.5	-
飲食	22.1	-
その他	54.3	-
合計	22.8	-

3. 営業概況

- 9月度のテナント取扱高は、今春および今秋に実施した改装の効果、ヒットコンテンツの展覧会開催、訪日外国人客の増加などの影響により、全店舗計（既存店）で対前年27.5%増となった。
- アイテム別取扱高では、アニメの展覧会を含むその他が対前年54.3%増、キャラクターの人気により継続して好調の雑貨が同36.4%増となった。